

Rotary 鈴鹿西ロータリークラブ会報

所属： 国際ロータリー第 2630 地区 鈴鹿・亀山グループ；

創立： 1985 年 3 月 27 日； RI 認証： 1985 年 6 月 3 日(No. 1665)；

事務所： 〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 816 鈴鹿商工会議所 3F；

電話： 059-383-7077； FAX： 059-383-0501；

E-Mail： info@rotary-suzuka-west.org； <https://www.rotary-suzuka-west.org/>

例会場： 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール； 例会日： 火曜日； 例会食事： 12: 00； 例会： 12: 30-13: 30；

UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう

2025 年 8 月 26 日(火)第 1803 回例会

例会場： 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール

開始： 12: 30 終了： 13: 30

例会進行： 小林英将 S A A

点鐘： 会長 森 喜代造

ソング： 四つのテスト

ソングリーダー： 川戸広樹 会員

ゲスト： 鈴鹿西プロバスクラブ

会長 辻野佳規様 副会長 草野靖生様

幹事 喜田久仁廣様

により 2023 年、新しいクリーンセンターとして
建て替えしております。



会長挨拶

森 喜代造 会長



みなさん今日は。毎日たいへん暑い日が続いて
おります。いかがお過ごしでしょうか。

一週間前に、千葉県の我孫子市、我孫子市ク
リーンセンターに行って参りました。

我孫子市のクリーンセンターは昭和 48 年に
稼働しましたが、半世紀も経ちますと、老朽化

建設費は 195 億円で全国最大の規模でありま
す。そこで鈴鹿市の清掃センターにおける建設
費は 40 億 9400 万円で我孫子市の 5 分の 1 で、
昭和 60 年に建設され、40 年を迎えております。

また、我孫子市の一日出るゴミは、120t で
あり、ゴミを焼却する時に発生する熱エネルギー
を有効活用して発電を行っております。

発電した電力は本施設の使用電力として賄う
ことで CO₂ の削減にも寄与し、余った電力は
売電するということです。また、本施設は利根
川に面していることから水害が発生した場合で
も、ゴミが流出しない構造となっており、災害
を安定的に稼働できるよう設計されております。

さらに我孫子市の豊かな環境を我孫子の三世
代に引き継ぐため環境について学べる、見学者

エリアを設置するなど、本施設が 3R 推進、いわゆる持続可能な社会を実現するための重要な取り組みであり、一人ひとりが意識して行動することが求められます。

そこで 3R とは、1 つは廃棄物の発生そのものを減らすこと。2 つ目は買いすぎない、食べ残しをしない、過剰な包装を避ける、いわゆるレジ袋を使わないなどでございます。3 つ目としてまだ使えるものを捨てずに、繰り返し使用することが 3R でございます。よって環境問題に対する市民の関心の高まりと、理解促進につながる一助となっております。

地元住民に安全で安心してもらえる施設としては、安全の確保を最重要項目として、技術や機器を導入し、維持管理が容易で故障しにくい安定と信頼性の高い施設を目指しております。

また、ごみの焼却量や焼却灰の搬出量排ガス中の煤煙濃度、水銀の濃度の測定にかかる記録を定期的に公開し、市民から信頼される開かれた施設運営を行っております。

施設内のゴミを焼却炉へ搬入するのは、すべてクレーンでコンピューター操作による自動運転で稼働され、臭いは全くないです。

日本一素晴らしい施設を見学してきました。

さて、私も西ロータリークラブの会長として、二ヶ月が過ぎようとしております。

そこで先般、研修リーダーの元 R I 研修リーダーの鈴木さんにお会いしまして、実は私、鈴鹿西ロータリークラブの会長になりました。という挨拶から始まり、鈴木さんから言われました「森さん会長というのは、ロータリアンの誇りを感じさせることであって、会長の覚悟とリーダーシップ、また幹事のひたむきな努力と気配

り、これこそクラブ運営の要ですよ」と教えて頂きました。

また、クラブの行事、特にこの例会の充実こそがロータリーと社会の発展につながることを忘れてはいけません。その責任はクラブ会長でありますよと、言われまた、会長の任期は一年でも、クラブでは主役、座長、外国でいう大統領と同じようなものですよ。

まあやる以上は最高を目指しなさい。そしてクラブの会員は、誰もが多忙な中、時間を自己管理できる経営者であるからこそ、仕事をやりくりして例会に出席しています。それは会場の食事のためではなく、例会に身を置きたいという思いがあるからです。だからこそクラブ会長はそれをきちんと提供しているという、認識と自負を持たなくてはなりませんよ。とおっしゃっておりました。

だから例会に来て良かったなと思う感動的な、会長挨拶が必要であり、会長にとって会員のロータリアンとしての士気を高めるために、会長に対する信頼と敬愛の念を会員の心に醸成して行き、クラブの活性化と一体感をもたらすために、最大の武器は心が洗われる会長挨拶であるよ。また会長挨拶は、会長だけの特権であります。しかも会長が唯一の実行者であり、かつ唯一の責任者であります。命を削る思いで、準備に取り組み、毎週ロータリーの素晴らしさ、ロータリーに入ってよかったな、と思えるようなロータリーの喜びと誇りについて語って欲しですね。また会員が次年度以降に、会長になりたいと羨望する感動的な行動と、クラブ一体感の演出を心がける。そして魅力的で価値ある例会を提供する。これは会員に有益な情報を提供し

合うということであり、また会員同士が交流し、経験や意見を語り合い、誠実な人柄に触れ、敬愛の念を、互いに深めあう場でもありますよ。

また、会員の卓話や、価値あるゲストスピーチ等で、会員の事業・生活・生き方に有益な情報や方法を提供するように心がけてほしい。会員が一体感と達成感に満ちた、貢献度の高い奉仕プロジェクトを行う。それにより、クラブの一体感を感じさせる。会員にとって例会場は安堵の場、例会は懇親と交流の成長の場となり、心がけてほしい。また実効性のあるクラブ理事会を開催し、親睦と学びの場となる例会で、新しい何かを発掘しては、どうですか。

そこでロータリークラブの姿ということでありました会員の人間性の向上、そして会員の事業の向上、会員の業界全体の向上、会員の家庭、町、並びに社会全体の向上、ロータリークラブの例会は、親睦と学びの場であります。ロータリークラブの究極の目的とは、すばらしい真のロータリアンを育て、支援し増やすことでございます。

また、学び、成長し向上発展に努め、すばらしい真のロータリアンが増え、世の中は良くなる、と仰っております。

ロータリーは自分自身の事業を、業界を、そして社会全体を向上させる運動であります。

また、真のロータリアンは世界を変える行動人であります。本来なら出会えない異業種の会員が、ロータリーの志を共にする仲間となって集う、親睦の喜び、仕事やロータリアンとしてのあり方、いわゆる「学ぶ喜び」。あらゆる機会に社会に貢献する「奉仕の喜び」それらを楽しみたいと思う純真さが必要ではないかと思ひます。

自らを我、道義の職業人と律し、自らを多少なりとも立派な人間でありたいと思う自尊心、そして成功や飛躍のチャンスというものは、大変素晴らしい感動であると。また、ロータリーは人生を豊かにする。こういった話をメモを取りながら教示頂きました。

以上でございます。ご清聴ありがとうございました。

鈴鹿西プロバスクラブ会長ご挨拶



会長 辻野佳規様

幹事報告

柴田友美 幹事



1. 伊勢ロータリークラブより第48回インターアクト年次大会参加のお礼状を頂戴しております。
2. 地区大会の登録料（¥12,000/1名）を9月2日（火）、9日（火）の例会において集金いたします。参加の方はご準備をお願いいたします。

たします。

3. 本日例会終了後、第4回理事・役員会を事務局において開催いたします。
4. 本日、18時より徳兵衛さんにおいて、亀山RC・鈴鹿西RCの合同会議があります。出席者はよろしくお願いいたします。

委員会報告

* 第48回インターアクト年次大会の報告



地区インターアクト委員会 小林英将委員

* 親睦・家族旅行（10/28）について

藤野恵子 親睦・家族委員長



出席報告

江藤隆仁 出席委員長

正会員 25名中 11名出席 出席率 52.38%

ニコニコボックス報告

藤野恵子 親睦・家族委員長

敬称略・順不同

※多額

※森喜代造：本日プロバスクラブの皆様ようこそお越し下さいました。

柴田友美：プロバスクラブの皆様ようこそ！

本日はよろしくお願いいたします。来年3月のF1日本グランプリチケット購入希望言って下さい。

小林英将：鈴鹿西プロバスクラブの皆様ようこそお越し下さいました。

森 豊：プロバスクラブ辻野会長、草野副会長、幹事 喜田さんようこそお越し下さいました。

野間芳実：プロバスクラブの皆様を歓迎して。

伊藤義一：プロバスクラブの例会は楽しかったです。今日はようこそ西クラブへ。

沖 俊成：鈴鹿西プロバスクラブ辻野様、草野様、喜田様、ようこそお越し下さいました。

岩崎 透：辻野様、草野様、喜田様大歓迎です。

本日のプログラム

【会員卓話】 トヨタ自動車の卓話でした。

トヨタとホンダ 車両開発の考え方。



江藤隆仁会員

会報発行担当：江藤隆仁